

=私たちの活動 4つの柱=

- *制度化と指導員の身分保障
- *専門性と仕事の確立
- *父母と共に学童保育運動の発展
- *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2021.11.4.

NO. 80

全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

ネット署名をもう一回り

記事本文中にあるように、「学童保育所が悲鳴をあげています」のネット署名は、わずか1か月余りで2万筆を超える賛同を得ることができました。

私たちの訴えに、「そうだ、そうだ」と思う人がこれだけいるということです。

ただ、まだまだこの署名を伸ばす余地は残っています。

特に、建交労各都道府県本部の執行委員など、組織内での取り組みがまだ不十分です。父母会や連絡協議会など、身近なところにもまだ広げ切れていません。

今回の厚生労働省への提出は、第1次分です。

当面の目標として、2万5千筆の到達をめざして、もう一回り、がんばっていきましょう。

その際に、この間取り組んできたネット署名2万5千筆を厚労省に提出し、立嶋部会長は「コロナ禍で現れた大変な実態は、従来からの課題。多くの反響があつたことを受け止めてほしい」と訴えました。

今回の交渉では、コロナ禍の感染防止のための緊急措置、基準や要綱の改定、児童福祉法7条への位置づけを、重点にしてきました。

部会長は「ワクチン接種後に発熱したが、体制が取れないために出勤しない」と尋ねました。厚労省は「職員配置などは市町村で適切に判断し、事業の継続ができる」という声も聞いている。

11月4日、部会役員は厚生労働省交渉に臨みました。

ネット署名、
2万筆を提出

が厚労省「自治体が適切に判断して実施を」

なればならない、という例もある。正規指導員が複数必要であることは明らかだ」。

静岡分会、11月より愛知支部の所属へ

10月31日に開催された愛知支部定期大会で、静岡学童保育分会が愛知支部へ所属異動することが確認されました。

双方の組織で、1年

かけて議論してきま

した。

県、地域は違

います

が

ます

が

ます